

2019年11月期第2四半期
決算説明会資料

2019年7月19日(金)

(東証第1部:8095)



イワキ 株式会社

本日のご説明内容

I .決算概況

II .主な取り組み

III .今後の見通し

決算概況(2019年11月期第2四半期)

前年同期比で売上高増収、さらにすべての段階利益で**大幅な増益を達成しました。**

	<u>実績</u>	<u>前年同期増減額</u>	<u>前年同期増減率</u>
売上高	310億円	+20.3億円	+7.0%
営業利益	12.7億円	+4.2億円	+49.0%
経常利益	13.3億円	+4.2億円	+46.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8.9億円	+2.7億円	+44.4%

セグメント別概況詳細

当期の概況

セグメント分類

医薬品・FC	原料薬品BU	✓ 既存の医薬品原料の製造販売は堅調に推移。また、潰瘍性大腸炎治療薬・脳血栓治療薬原料が好調に推移。 売上・営業利益共に伸長	
	医薬品BU	✓ 医療用医薬品分野では、主力の外皮用剤は全般的に販売が好調に推移し、特に副腎皮質ホルモン剤など 主力品売上が伸長 ✓ 一般用医薬品は「ビタミンC末」は低調も、 外皮用剤提携品の売上が伸長	
	医療機器BU	✓ 酸素ブレンダー及びテスト肺関連機器の販売が好調 だったことに加え、 小児用マスクの取引拡大 により消耗品関連も伸長し大幅な増収増益となった	
HBC	HBC原料BU	✓ 機能性食品原料分野は、 一部原料の需要逼迫や複数社購買の影響 などにより低調に推移 ✓ 化粧品原料分野は、 市場の好調 を背景に主力原料・自社原料が伸長し、堅調に推移	
	ファルマネットBU	✓ 既存顧客との取引拡大、海外向け販売に一定の成果が得られ堅調に推移も、 物流費高騰 などによる費用の増加により営業利益は低調に推移	
	化粧品通販BU	✓ 新規顧客向け売上高は計画を下回ったものの、 主力製品の既存顧客向けプロモーションの好調 により全体では堅調に推移	
化学品	表面処理薬品BU	✓ プリント配線板向けでは「アフリング」用硫酸銅めっき添加剤・ドライフィルム剥離剤の販促に注力 ✓ 半導体向けではバンプ形成用めっき、シード層エッチング剤拡販を継続 ✓ 自動車市場に着目 し新たに亜鉛合金めっきをラインアップに追加	
	スペシャリティマテリアルBU	✓ 新たな取り組みは底上げとなるものの、 中華圏の減速 もあり前年比大幅伸長であるも堅調	
	表面処理設備BU	✓ 性能や技術の向上があるも、設備投資が先送りされている市場の影響により堅調に推移	
食品	食品BU	✓ 既存原料の拡大、健康志向食品向け原料の需要増加により全体的には堅調に推移	

セグメント別業績

主要4セグメントで増収、医薬・FC事業では大幅増益を達成しました。

セグメント	売上高		営業利益	
	実績	前年同期増減額	実績	前年同期増減額
医薬・FC事業	120 億円	+14.2 億円	12.2 億円	+4.6 億円
HBC事業	123 億円	+2.0 億円	0.3 億円	△0.5 億円
化学品事業	35 億円	+4.1 億円	0.1 億円	+0.2 億円
食品事業	21 億円	+0.6 億円	△0.1 億円	△0.0 億円
その他	9.8 億円	△0.6 億円	0.1 億円	△0.1 億円

セグメント別売上構成(2019年11月期第2四半期)

製造業比率は製造小売を含め、34%となりました。

売上高
構成比

原材料製造

流通

製品製造

卸売

小売

計(事業別)

	原材料製造	流通	製品製造	卸売	小売	計(事業別)
医薬・FC 事業	原料薬品BU 21億円	63億円	医薬品BU 38億円	医療機器BU 2億円		120億円 39%
HBC事業		HBC原料BU 52億円		ファルマネットBU 59億円	化粧品通販BU 13億円	123億円 40%
化学品 事業	表面処理薬品BU 26億円 表面処理設備BU 7億円	スペシャリティ マテリアルBU 3億円				35億円 11%
食品事業	食品BU 2億円	20億円				21億円 7%
その他				動物 薬卸 9億円		9億円 3%
計(サプライ チェーン別)	55億円 18%	137億円 44%	38億円 12%	71億円 23%	13億円 4%	310億円 100%

本日のご説明内容

I .決算概況

II .主な取り組み

III .今後の見通し

皮膚のイワキ、続々

「皮膚のイワキ」 機能拡充

タイガーバームの販売総代理店権取得をはじめ、「メーカー機能」の拡充を念頭に置いたさまざまな新施策がスタートしています。

既存の
取り組み

新規の
取り組み

製品

原料

ジェネリック 外皮用剤

シルキーカバーオイルブロック

タイガーバーム

ザンミーラネイル

ミノグロウ

NAVISIONシリーズ

ヒアルロン酸IW

高薬理活性（ステロイド）



【手爪 足爪 兼用】
集中補修で健康的な地爪に

ザラザラ
ゴツゴツ
くすんだ
地爪に

地爪に直接塗るだけ

地爪用浸透補修液
ザンミーラ®ネイル 10mL

素早く浸透 爪のすきままで入り込み不潔

Zanmira® Nail

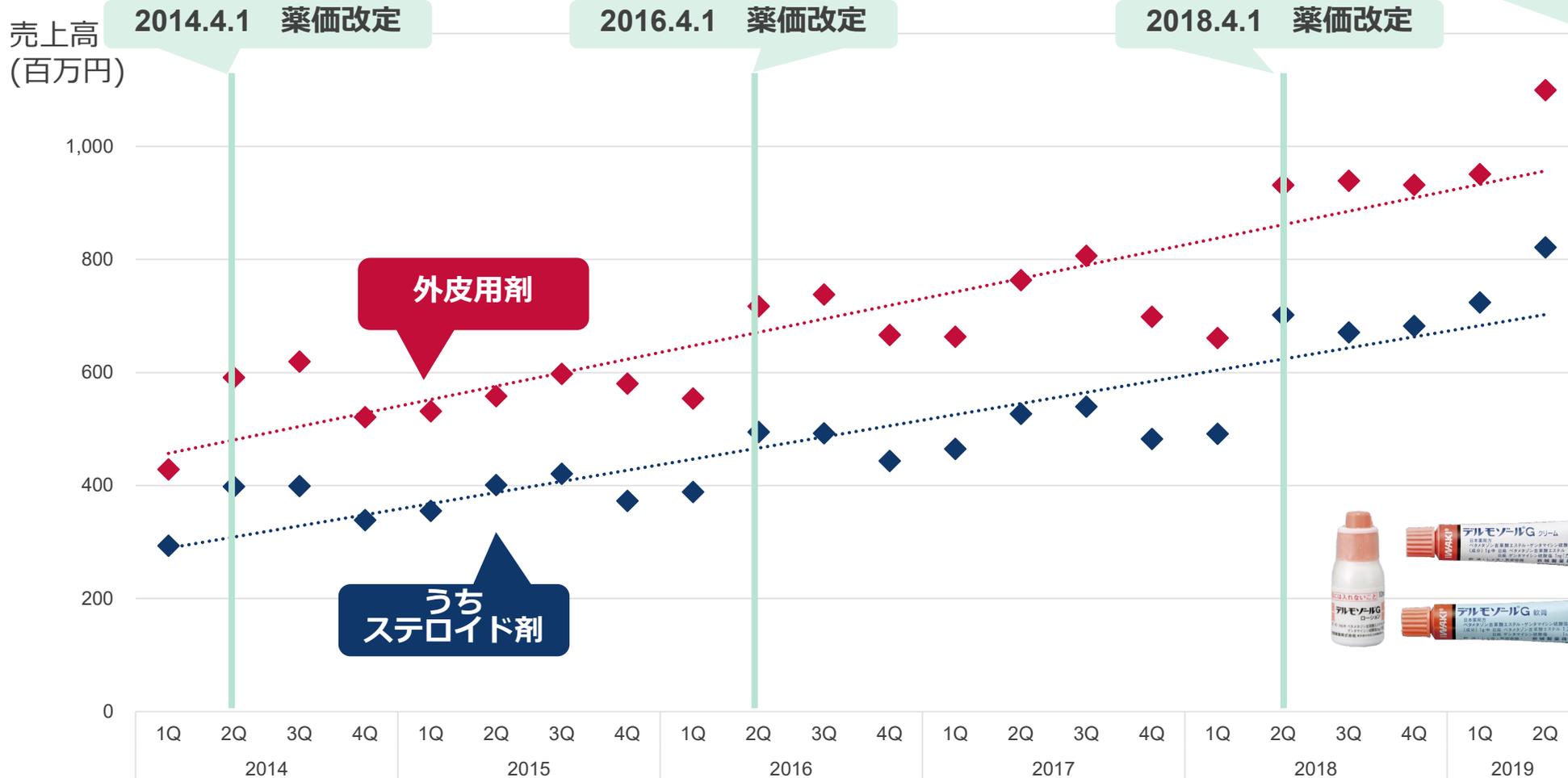
ジェネリック外皮用剤 四半期売上高推移

主な取り組み

医薬・FC事業

外皮用剤売上高は、薬価改定の影響を受けるものの中長期的には順調に伸長を続けています。

2019.10.1 薬価改定予定



シルキーカバーオイルブロック

化粧品通信販売を行うアプロスでは、看板商品を軸とした商品ラインアップ拡充を進め、シニア世代No.1ブランドを目指します。

「BBクリーム」を新発売

ひと塗りで簡単キレイ!時短ベースメイク!

新発売! 6つの働きが1つに!
化粧下地 ファンデーション 日焼け止め 化粧水 美容液 美白ケア

美白BBファンデ誕生!

これ1つで
シミも紫外線も
キレイもカバー!

SPF50+ PA++++
実用BBファンデーション 30g (医薬部外品) (朝の使用で約2ヶ月分)

こんな方にオススメ!
シルキーしか使わない
メイクはしない
いろいろ塗るのは大変...

シルキーカバーと一緒に購入してもらいやすい製品を拡充

看板商品

通販・化粧下地部門

国内シェア**No.1**※1

シルキーカバーオイルブロック



60歳代以上で人気!!

シルキーカバーオイルブロック**主要顧客世代の需要が大きい**製品群

「色物」※2の展開を開始

シルキーカバー愛用のメイクアップアーティストと共同開発
カンタン若見えメイクアイテムが**新発売!!**

Silky Sai

—シルキーサイ—



シルキーカバーに
足すだけでOK!

メイクも手取りの
プロと
共同開発

“お手なメイク”
じゃない
“あなたなメイク”
にしている人だ!

▶ シニア世代No.1ブランドへ

販売総代理店権取得「タイガーバーム」

シミックCMO株式会社が製造販売する「タイガーバーム」の販売総代理店権を取得しました。

市場概況

- ✓ 一般用医薬品における外用消炎鎮痛剤の需要は大きく、今後も伸長が予測される。

<一般用医薬品 外用消炎鎮痛剤市場> ※

2015年

455
億円



2021年予測

537
億円

※出典：富士経済『2018一般用医薬品データブックNo.2』

商品概要

- ✓ 20世紀初頭に誕生し、使い継がれてきた
世界100か国で愛されているロングセラー
- ✓ 既に販売を開始。**インバウンド需要にリーチ**
今月より徐々にドラッグストア等の店頭に並ぶ予定

ブランド認知率
7割以上!



タイガーバームは生薬由来成分を独自処方により配合。肩こり・腰痛などのこり・痛みに効く、外用消炎鎮痛剤です。

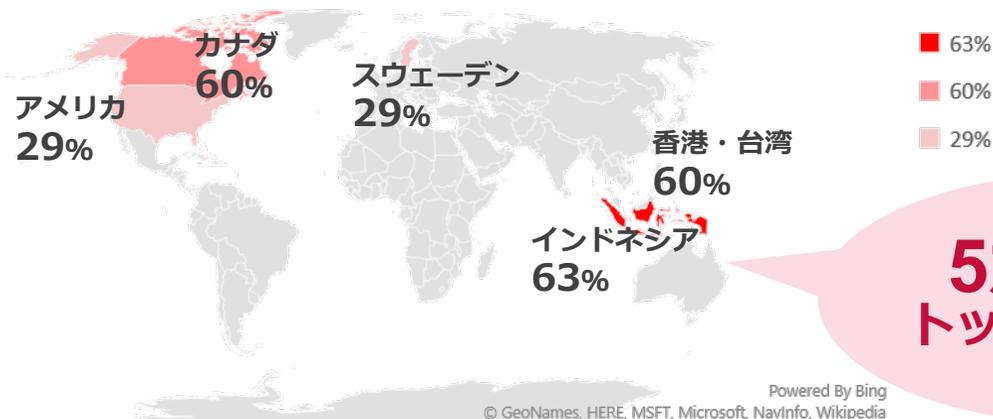
▶ **販売総代理店権を取得。国内独占販売。**

販売総代理店権取得「ザンミーラネイル」

シミックCMO株式会社が製造販売する「ザンミーラネイル」の販売総代理店権を取得しました。

商品概要

スウェーデンで生まれた同ブランドは全世界40か国以上で発売。
各国でトップシェアを誇り、世界に認められたフットケア製品です。



5か国では
トップシェア！※

地爪用浸透補修液 10mL

無香料
防腐剤不使用

地爪に直接塗るだけ。
爪の奥まで素早く浸透し、
爪の健康を整えます。



手爪 足爪 兼用

集中補修で
健康的な地爪に



ザラザラ
ゴツゴツ
くすんだ
地爪に



地爪用浸透補修液
ザンミーラ®ネイルI 10mL

素早く浸透 ※※ 爪やすり不要 すり込み不要



▶ 販売総代理店権を取得。国内独占販売。

壮年性脱毛症薬「ミノグロウ」

一般用医薬品にて新製品を発売し、順調に販売しております。

市場概況

- ✓ 一般用医薬品における育毛剤の市場は、今後もゆるやかに伸長すると予測されている

＜一般用医薬品 育毛剤市場＞※
 2015年 2021年予測

170
億円



183
億円

※出典：富士経済『2018一般用医薬品データブックNo.2』

当社の現況

- ✓ 2018年11月、壮年性脱毛症による発毛剤（第1類医薬品）である「**ミノグロウ**」を発売
- ✓ 2019年11月期上期では計画を**上回る販売を維持**
- ✓ 第1類医薬品のため、薬剤師による説明が必要。**調剤薬局**を主体に情報提供を実施。



NAVISIONブランド さらなる販売促進策

ナビジョン事業ではグループ間の連携により**さらなる事業育成を目指します。**

ナビジョン事業 ▶ **2005年**よりスタート。様々な試験項目をクリアし、厚生労働省が承認した「美白有効成分」を配合し、臨床試験を行った商品を販売しています。

NAVISION	医療機関及び、岩城製薬が運営するナビジョンオンラインショップなど、 ECからも購入可能。	 約 11 品目
NAVISION DR	2013年より販売開始。NAVISIONの進化版。 医療機関のみで購入可能。	 約 26 品目
ドクターユース品	ケミカルピーリング商品、イオン導入、施術用。 医療機関が美容施術時に使用する製品。	 約 9 品目

販売網強化の計画を検討中



岩城製薬株式会社

- ✓ NAVISIONブランド
- ✓ 外皮用剤の岩城製薬

**インターネット販売等
による販売網強化**

ヒアルロン酸の製造・販売

主な取り組み

HBC事業

新たにヒアルロン酸を岩城製薬にて製造・伊ワキにて販売開始。



市場概況

- ✓ 皮膚における保湿性等の訴求で、**認知度が高く市場に定着した素材**である。
- ✓ 化粧品用途としては成熟市場であるものの、サプリメント用途が牽引して**市場の伸長は健在**

＜ヒアルロン酸市場＞※

2015年

2021年予測

175
億円



220
億円

※出典：富士経済『生物由来有用成分・素材市場徹底調査2017年』

当社の現況

- ✓ **「ヒアルロン酸IW」**として、岩城製薬にて製造、伊ワキにて販売を開始
- ✓ 医薬品メーカーにおける製造であり**「確かな品質管理」**を売りとする
- ✓ 2019年5月から**納入を開始**
- ✓ **2021年までに十分な実績伸長**を目指す



高薬理活性医薬品原料のイワキ

ノースキューブ（新分析センター） が8月末竣工いたします

完成
予想図

順調に
建設中



医薬品原料商社の「メーカー機能」とは？

原料等登録原簿(MF; Master File)制度により、医薬品原料商社は、原料の輸入時には「メーカー機能」を果たしています。

原料等登録原簿 (MF) 制度とは？

- ✓ 国内製販がジェネリック医薬品を販売するためには行政にあらゆる情報を**申請**する必要がある。
- ✓ その中には**API (医薬品有効成分) の製法**も必要となるが、**海外メーカー**は自社の製法を他社に教えたくない。

▼ MF (マスターファイル) 制度を利用



新分析センター進捗・予定原料品目

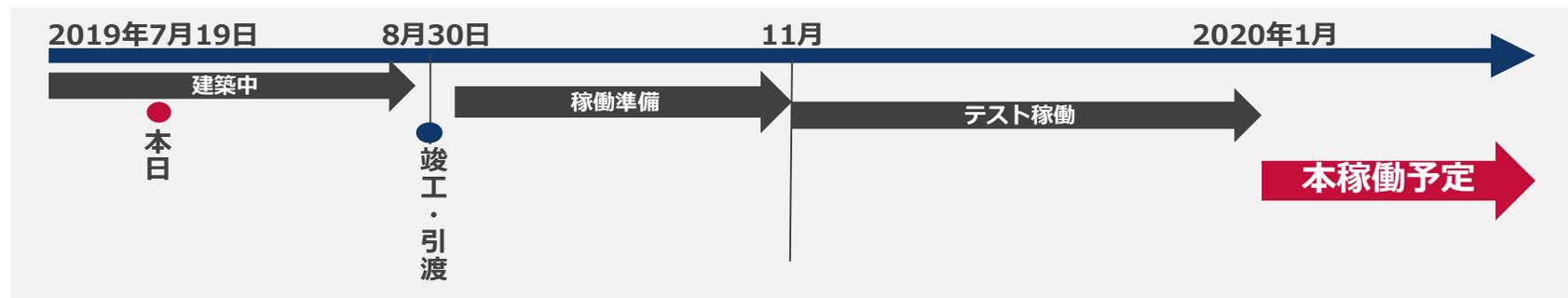
順調に建設及び新規品目の目途が立っています。



■ 新規品目（医薬品原料）の予定

領域	ステータス	国内／海外	売上予定（年間）	精度
AGA治療薬	申請中	国内	2,000万円	高
抗悪性腫瘍剤	2020年申請	国内	5,000万円	低
便秘治療薬	2022年申請	国内	8,000万円	中
抗悪性腫瘍剤	2023年申請	国内	3,000万円	低
代謝拮抗薬	未定（2020年販売可能性有）	海外	4,000万円	中

■ 新分析センター建設～稼働スケジュール



▶ 竣工後はあらためてプレスリリース、得意先へのご案内も予定

本日のご説明内容

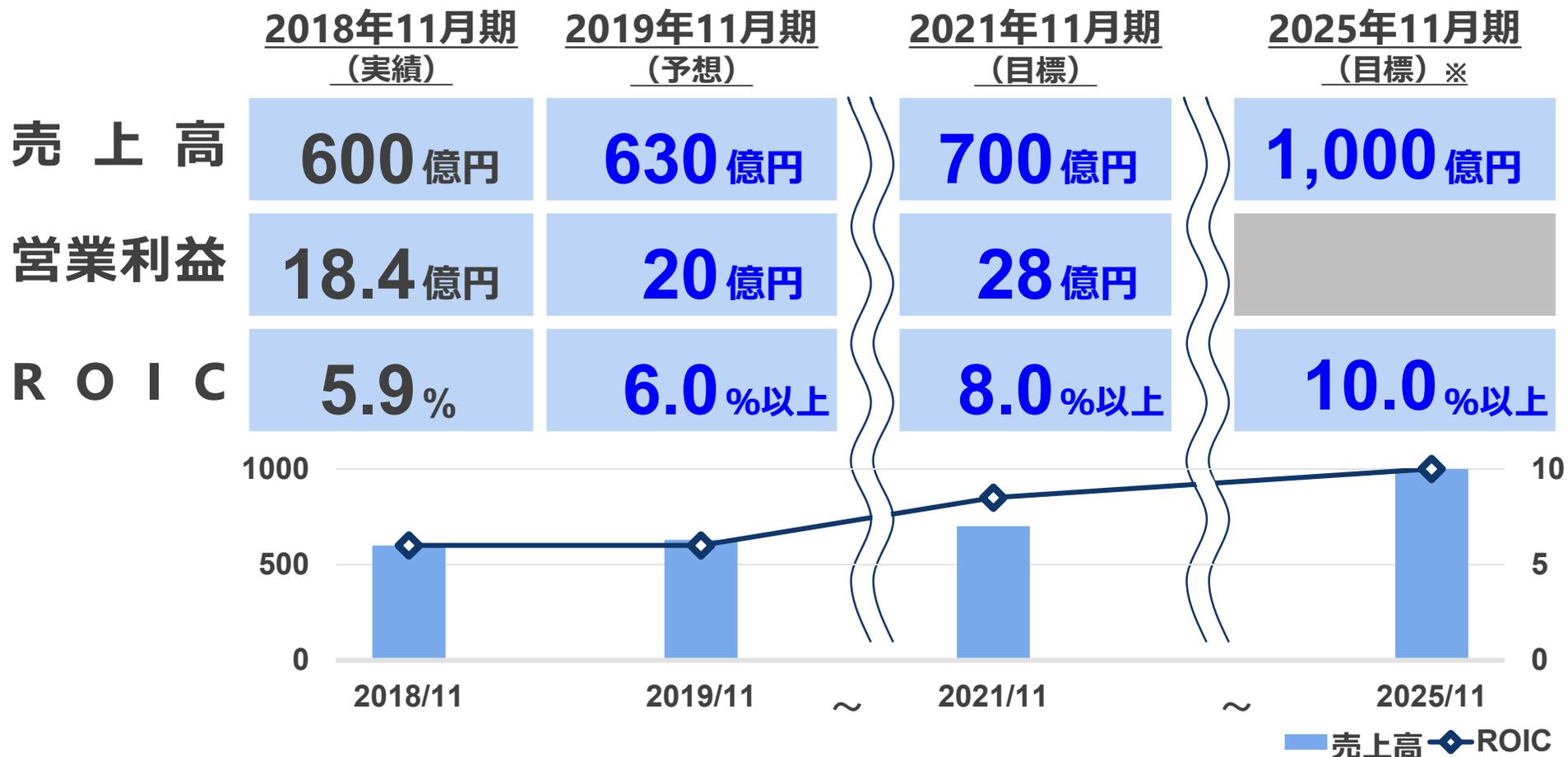
I .決算概況

II .主な取り組み

III .今後の見通し

中長期経営計画

3カ年の定量目標につきましては、原則として毎年ローリングしています。



※最終年度の数値目標につきましては、2016年1月14日付開示から変更はありません。

通期連結業績の見通し

2019年11月期は、創業来最高額の営業利益達成を、3期連続で目指します。

	見通し	前期増減額	前期増減率
売上高	630億円	+29億円	+4.9%
営業利益	20億円	+1.5億円	+8.2%
経常利益	20億円	0億円	0.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15.5億円	+1.3億円	+9.6%
ROIC	6.0%	(実績)5.9%	-%

<営業利益増減要因>

■ 医薬・FC事業	新分析センター建設関連費用	△0.5億円	
■ 化学品事業	譲受事業の寄与など	+3.1億円	
■ 全社	人事制度の変更など	△2.0億円	※前期増減額

株主還元

従来の固定的な配当から、下限を持った業績連動型へ変更しています。

上半期の業績を鑑みて、**年間配当予想を当初予定の11.0円から12.0円へ修正しました。**

配当方針

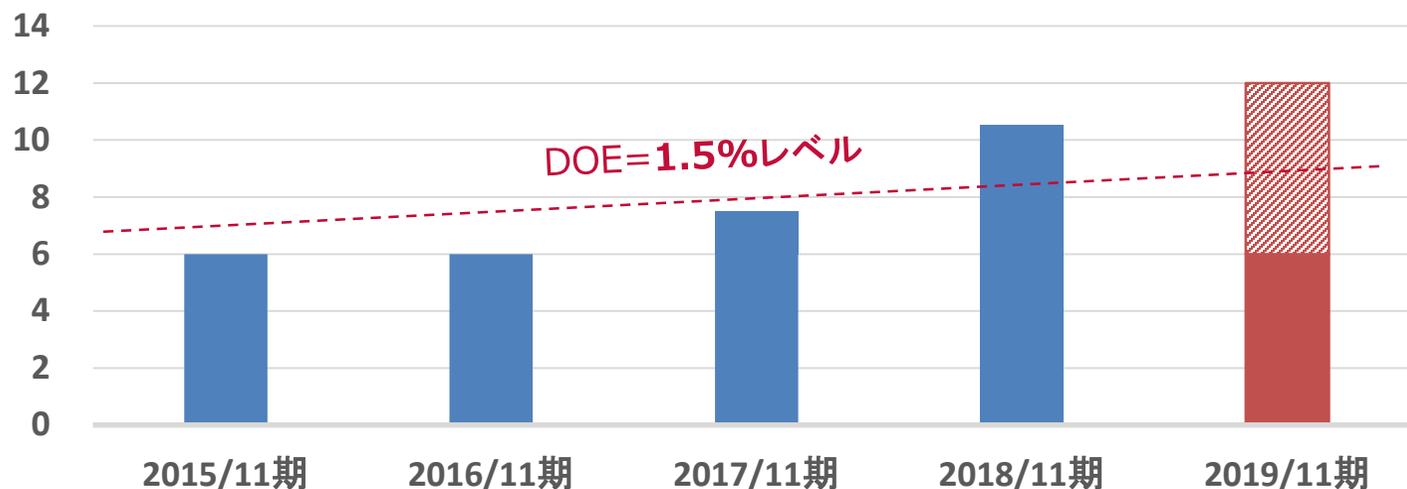
純資産配当率
(DOE) **1.5%** 以上

連結配当性向 **30%** 目処

一株当たり
配当額(円)

固定的な配当

下限 +
業績連動



期末配当
予想

6.0円

中間配当

6.0円

年間配当

12.0円

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれています。

問い合わせ窓口
イワキ株式会社
管理本部 経営管理部
Tel:03-3279-0564